

令和4年度農業委員会の農地利用の最適化の推進の状況その他事務の実施状況の公表

都道府県名：福岡県

農業委員会名：香春町農業委員会

I 農業委員会の状況(令和4年4月1日現在)

※「I 農業委員会の現況」については、別紙様式1の内容を転記

1 農業委員会の現在の体制

任命・委嘱年月日 令和2年7月20日

任期満了年月日 令和5年7月19日

	農業委員	
	定数	実数
農業委員数	8	8
認定農業者	—	3
認定農業者に準ずる者	—	2
女性	—	2
40代以下	—	0
中立委員	—	1

	定数	実数	担当区域数
農地利用最適化推進委員	6	6	5

2 農家・農地等の概要

	経営体数
総農家数	315
農業経営体数	207

※ 直近の「農林業センサス」又は「農業構造動態調査」に基づいて記入

	農業者数(人)
基幹的農業従事者数	191
女性	53
40代以下	8

※ 直近の「農林業センサス」又は「農業構造動態調査」に基づいて記入

	経営体数(経営体)
認定農業者	10
基本構想水準到達者	2
認定新規就農者	1
農業参入法人	0
集落営農経営	1
特定農業団体	0
集落営農組織	1

※農業委員会調べ

単位:ha

	田	畑				計
			普通畑	樹園地	牧草畑	
耕地面積	406	67	0	0	0	473

※ 直近の「耕地及び作付面積統計」に基づいて記入

Ⅱ 最適化活動の実施状況

【農業委員会の実績及び点検・評価結果】

※ 「現状及び課題」及び「目標」については、別紙様式1の内容を転記

1 最適化活動の成果目標

(1) 農地の集積

① 現状及び課題

現状	管内の農地面積(A)	これまでの集積面積(B)	集積率(B)／(A)
	473 ha	88 ha	18.6 %
課題	基盤整備の実施された平地では、集落営農法人等による農地集積が進んでいるが、耕作条件の悪い中山間地では担い手も不足しており集積が進んでいない。		

※1 農地面積は、直近の「耕地及び作付面積統計」における耕地面積を記入

※2 「農地の集積」は、経営局長通知の別表1に掲げる者への農地の集積をいう

※3 「集積面積」は、局長通知別表1に掲げる者へ集積された農地の面積をいう(以下同じ。)

② 目標

農地の集積の目標年度	令和10年度	集積率	80.0 %
今年度の新規集積面積	28.9 ha	農地面積(C)	473.0 ha
今年度末の集積面積(累計)(D)	117.2 ha	(目標)今年度末の集積率 (E)=(D)／(C)	24.8 %

※ 農地の集積の目標年度及び農地集積率には、設定した目標の根拠とした目標の目標年度及び当該目標年度における農地集積率を記入

③ 実績

今年度の新規集積面積	0.86 ha	農地面積(F)	473 ha
今年度末の集積面積(累計)(G)	95.53 ha	今年度末の集積率 (H)=(G)／(F)	20.2 %
目標に対する達成状況(H)／(E)	81.4 %		

農業委員会の 点検結果	目標をやや下回る結果となったものの、一定の成果を上げることができた。
----------------	------------------------------------

※1 今年度の新規集積面積は、当該年中の集積面積(フロー)を記入

※2 今年度末の集積面積(累計)は、年度末時点の集積面積(ストック)を記入

(2) 遊休農地の発生防止・解消

① 現状及び課題

現状	直近の利用状況調査により判明した遊休農地の状況		
	1号遊休農地面積		
		うち緑区分の遊休農地面積	うち黄区分の遊休農地面積
	12.2 ha	5.1 ha	7.1 ha
営農条件の悪い中山間地の農地等では、遊休農地の増加、固定化が進んでいる。			

② 目標

ア 既存遊休農地の解消

a 緑区分の遊休農地の解消

令和3年度の利用状況調査における緑区分の遊休農地面積	5.1 ha	うち解消すべき面積	3.4 ha
緑区分の遊休農地の解消目標面積(C)	0.68 ha		

※ 緑区分の遊休農地の解消目標は、令和3年度の利用状況調査における緑区分の遊休農地面積の5分の1の面積を記入

ｂ 黄区分の遊休農地の解消

令和3年度の利用状況調査における黄区分の遊休農地	7.1 ha
黄区分の遊休農地の解消のための工程表の策定方針	担い手や農地所有者の意向把握を勧め、基盤整備の実現可能性を検討しながら、地区に応じた黄区分の遊休農地の解消に関する工程表を作成する。

イ 新規発生遊休農地の解消

前年度に新規発生した緑区分の遊休農地の解消目標面積	0.0 ha
---------------------------	--------

③実績

ア 既存遊休農地の解消

ａ 緑区分の遊休農地の解消

今年度の緑区分の遊休農地の解消実績面積(D)	1.34 ha
今年度の目標に対する達成状況(D)／(C)	197.1 %

ｂ 黄区分の遊休農地の解消

黄区分の遊休農地の解消に向けた工程表の策定状況	工程表の作成に着手することができなかった。
-------------------------	-----------------------

イ 新規発生遊休農地の解消

前年度に新規発生した緑区分の遊休農地の解消実績面積	0.00 ha
---------------------------	---------

④その他

農地の利用状況調査	調査実施時期		調査結果取りまとめ時期	
	令和5年7月～8月		令和5年7月～12月	
	1号遊休農地の面積	13.4 ha	うち緑区分の遊休農地	4.6 ha
			うち黄区分の遊休農地	8.8 ha
農地の利用意向調査	調査実施時期		調査結果取りまとめ時期	
	令和5年9月～10月		令和5年9月～12月	

農業委員会の点検結果	所有者や担い手への働きかけ、利用調整に取り組んだ結果、緑区分の遊休農地については目標を上回る成果をあげることができたが、黄区分の遊休農地の解消について工程表の作成に着手することができなかった。
------------	--

(3)新規参入の促進

①現状及び課題

現状	令和元年度新規参入者	令和2年度新規参入者	令和3年度新規参入者
	0 経営体	1 経営体	0 経営体
	0.0 ha	13.9 ha	0.0 ha
課題	集落営農の組織化のようなケースを除き、本格的に農業に参入しようとする者はほとんどいない状況。		

※ 現状欄は、直近3年度の新規参入した経営体数と当該経営体に集積した農地面積を記入

②目標

権利移動面積	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平均
	18.8 ha	23.0 ha	30.6 ha	24.1 ha
新規参入者への貸付等について農地所有者の同意を得た上で公表する農地の面積(A)	2.4 ha			

※1 過去3年間の権利移動面積は、農地法(昭和27年法律第229号)第3条第1項に基づく許可及び農業経営基盤強化促進法第19条に基づき公告された農用地利用集積計画による権利移動面積(有償所有権移転(所有権に基づいて耕作の事業に供していたものに限る。)及び賃借権の設定並びに利用権の設定に限る。)を記入

※2 目標面積は、過去3年度の権利移動面積の平均の1割以上を記入

③実績

新規参入者への貸付等について農地所有者の同意を得た上で公表した農地の面積(B)		2.4 ha
公表URL	https://www.town.kawara.fukuoka.jp/s024/20221007145440.h	(その他の公表方法)
目標に対する達成状況(B)/(A)		100.0 %
(参考)新規参入者の参入状況	参入経営体数	0 経営体
	取得農地面積	0.0 ha

農業委員会の点検結果	香春町が独自に実施する「香春町農地バンク制度」を活用し、遊休農地所有者などに働きかけを行った結果、概ね目標とする貸付同意を得ることができたが、新たに参入する経営体はなかった。
------------	---

※ 参入経営体数は、農地を取得して新たに農業に参入した経営体数を記入

2 最適化活動の活動目標

(1)推進委員等が最適化活動を行う日数目標

1人当たりの活動日数	10 日／月	最適化活動を行う農業委員の人数	14 人
		農地利用最適化推進委員の人数	6 人

(2)活動強化月間の設定

①目標

活動強化月間の設定回数	3 回
-------------	-----

取組時期	取組項目	強化月間の内容
5月	①農地の集積	農地の集積に向けた町との情報交換と活動方針の確認
11月	②遊休農地の解消	利用状況調査結果に基づく遊休農地の重点的な解消活動
3月	①農地の集積	農地集積に向けた取り組み状況の振り返りとフォローアップ

※1 取組項目欄は、①農地の集積、②遊休農地の発生防止・解消、③新規参入の促進のいずれかを記入

※2 強化月間の内容欄は、活動強化月間の具体的な取組の内容を記入

②実績

活動強化月間の設定回数	1 回
-------------	-----

取組時期	取組項目	強化月間の結果
5月	①農地の集積	農地の集積に向けた町との情報交換と活動方針の確認を行った結果、委員の目的意識も高まり、意欲を持って活動に取り組むことができた。

※ 強化月間の結果欄は、強化月間中に行った具体的な取組の内容とその結果生じた効果等の内容を記入

(3)新規参入相談会への参加

①目標

新規参入相談会への参加回数

2 回

開催時期	随時	相談会名	田川地域就農相談会
参加者数	1人	開催場所	未定
相談会の内容	・福岡県飯塚農林事務所田川普及指導センターが開催する就農相談会。 ・定期開催ではなく具体的な相談案件があった場合に随時開催。 ・香春町に関連する案件の相談会は年2回を想定。		
開催時期	未定	相談会名	半農半X事業
参加者数	1人	開催場所	町内
相談会の内容	・香春町が開催する移住定住及び農業体験を目的とする事業。 ・町が参加者を募集し、日程等を調整。		

※1 新規参入相談会への参加回数欄は、推進委員等が1名以上参加する相談会の数を記入
(参加者数によらず、1名以上が参加する新規参入相談会ごとに1回とする)

※2 複数の新規参入相談会に参加する場合は、適宜、開催時期以下の欄を追加する

②実績

新規参入相談会への参加回数

0 回

開催時期		相談会名	
参加者数		開催場所	
相談会の内容			
開催時期		相談会名	
参加者数		開催場所	
相談会の内容			

※1 新規参入相談会への参加回数欄は、推進委員等が1名以上参加した相談会の数を記入
(参加者数によらず、1名以上が参加した新規参入相談会ごとに1回とする)

※2 複数の新規参入相談会に参加した場合は、適宜、開催時期以下の欄を追加する(評価点欄は追加しない)

目標の達成状況の評語

目標に対して期待どおりの結果が得られた

※ 別表に基づいて成果目標及び活動目標の各目標の達成状況に対する評語を記入

【推進委員等の点検・評価結果】

評語	推進委員等の人数
目標に対し期待を大幅に上回る結果が得られた	0
目標に対し期待を上回る結果が得られた	5
目標に対して期待どおりの結果が得られた	6
目標に対して期待を(やや)下回る結果となった	3

※ 別表に基づいて成果目標及び活動目標の各目標の達成状況に対する評語ごとの該当する推進委員等の人数を記入

Ⅲ 事務の実施状況

都 道 府 県 名 : 福岡県
農 業 委 員 会 名 : 香春町農業委員会

1 総会、部会の開催実績

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	備考(定例開催以外の理由)
総会	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	

※ 総会又は部会の月ごとの開催回数を記入

2 農地法第3条に基づく許可事務

1年間の処理件数		12 件	うち許可	12 件		
処理期間	実施状況	標準処理期間	申請書受理から	30 日	処理期間(平均)	20 日
	総会開催日の公表	公表している	していない	申請書締切日の公表	公表している	していない

3 農地転用に関する事務(意見を付して知事への送付)

権限移譲の状況 (当てはまるものに○)	・農地法第4条第1項の規定に基づく指定市町村に指定					
	・地方自治法第252条の17の2第1項に基づき市町村長へ事務委任					
	・地方自治法第180条の2に基づき市町村長から農業委員会へ事務委任					
1年間の処理件数		5 件	うち許可相当	5 件	うち不許可相当	0 件
処理期間		標準処理期間	申請書受理から	30 日	処理期間(平均)	20 日

4 違反転用への対応

現 状	管内の農地面積	年度末時点の違反転用面積
	473 ha	0.0 ha
違反転用解消のために 実施した活動内容	令和5年7月下旬から8月上旬にかけて利用状況調査と合わせて違反転用がないかパトロールを実施した。また、全委員が日常的に農地をパトロールし、違反転用と思しき事案はすぐに事務局に報告する体制を作っている。	
実 績	違反転用解消面積 0.0 ha	

※1 管内の農地面積は、耕地及び作付面積統計における耕地面積を記入

※2 違反転用面積は、管内で農地法第4条第1項又は第5条第1項の規定に違反して転用されている農地の面積を記入

※3 活動内容は、違反転用の解消や早期発見・未然防止のために何月に何日何を行ったのか等について具体的に記入